



2020年5月12日

各位

会社名 GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 相浦 一成
 (コード: 3769 東証第一部)
 問合せ先 取締役副社長 村松 竜
 (TEL. 03-3464-0182)

2020年9月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2019年11月12日に公表いたしました2020年9月期の第2四半期(累計)(2019年10月1日～2020年3月31日)の連結業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年9月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異

	売上収益	営業利益	税引前 四半期利益	四半期利益	親会社の所有者に 帰属する 四半期利益	基本的 1株当たり 四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	17,116	4,363	4,122	2,597	2,533	34.44
実績値(B)	18,386	4,704	5,247	3,455	3,408	46.33
増減額(B-A)	1,270	341	1,125	858	875	-
増減率	7.4%	7.8%	27.3%	33.0%	34.5%	-
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年9月期第2四半期 (累計))	16,015	4,258	4,134	2,549	2,578	35.05

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間の業績については、EC市場の順調な成長に加え、EC事業者以外にも当社グループのサービス提供を拡大したことにより決済代行事業が増収となったことに加え、金融関連事業も順調に進捗し、売上収益は当初予想を上回りました。利益面では、投資事業組合運用益223百万円等により金融収益が244百万円発生したこと及び持分法による投資利益が421百万円発生したことにより、税引前四半期利益、四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益が当初予想に比べて大幅に上回る結果となりました。

なお、通期連結業績予想については変更ありません。2020年4月30日付で開示した「連結子会社(孫会社)に対する債権放棄及び同連結子会社の異動を伴う株式譲渡に関するお知らせ」に記載のとおり、Macro Kiosk Berhad(以下、「Macro Kiosk社」という。)が当社グループの連結範囲から除外されることにより、2020年9月期の売上収益が通期連結業績予想に対して下振れすることが想定されますが、現時点で影響額が未確定となっております。当該Macro Kiosk社の影響及び今後の業績動向の精査により、修正が必要となった場合は速やかにお知らせいたします。

以上